

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	中澤 海沼
全体計画					経費区分	—			内線	3254		
事務事業名		4128 公衆トイレ管理事業										
所 属		140100 環境部・生活環境課										
施 策		03011300 環境衛生施設の整備										
予 算		01 一般会計										
科 目		040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
事 業		050000 公衆トイレ管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
環境衛生施設の適正な管理することにより、きれいで美しい町を保全する。						使用者に快適な環境施設を提供する						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
適切な施設管理を行った(全年度の適切な管理内容を簡潔に入力願います h27_06_19総務課 寺沢入力)	適切な施設管理を行った
平成24年度 実績	平成25年度 実績
適切な施設管理を行った	適切な施設管理を行った
平成26年度 実績	平成27年度 予定
適切な施設管理を行う	適切な施設管理を行う

指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		1,236	1,682
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	30	30
一般財源		1,206	1,652
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.2	0.2
人 員 コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	235.4	235.4
	計	1,607.0	1,607.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		2,843.0	3,289.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4	
11節 需用費	650	消耗品 水道光熱費、修繕費
13節 委託費	580	シルバー人材センター管理業務委託 ぶどうの家清掃業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	695	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	987	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	誰もが安心して利用できる環境を整える必要がある。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	利用頻度に応じた維持管理が必要。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	利用者へ負担をかけることはできない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

快適な公衆トイレを提供した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
老朽化したトイレの修繕と下水道接続を計画的に行ってきた。今後は施設の快適性を維持するため、適切な管理を継続するが、管理体制については見直す必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
北横町、芝宮トイレの改修工事の完成により、規模の大きい改修工事は完了した。今後は、和式便器の洋式化等工事と適切な管理の継続が重要。公衆トイレ整備事業を統合。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	